

令和元年度全日本特別支援教育研究連盟  
第56回近畿特別支援教育連絡協議会

# 滋賀県大会

「『その子らしさ』がいきる共生社会の実現を目指して」

～学習者本人を起点としたインクルーシブ教育のあり方の追求～

令和元年8月9日（金）

## 第二次案内



大会事務局

〒520-0002 滋賀県大津市際川三丁目 9-1

滋賀大学教育学部附属特別支援学校

E-mail: a-kimura@edu.shiga-u.ac.jp

大会実行委員長  
大会事務局

東近江市立能登川東小学校 校長 井上照美  
滋賀大学附属特別支援学校 教諭 木村明子

令和元年度 全日本特別支援教育研究連盟  
第56回 近畿特別支援教育連絡協議会

# 滋賀県大会要項

## 1 大会主題

「『その子らしさ』がいきる共生社会の実現を目指して」

～学習者本人を起点としたインクルーシブ教育のあり方の追求～

## 2 趣 旨

障害者差別解消法を受けた基礎的環境整備や合理的配慮の実現、新学習指導要領の実施、高等学校も含めた通級による指導の充実など、教育においても共生社会の実現に向けての動きが加速してきている。このような中、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築を一層進めていく必要があり、特別支援教育に求められる事柄は多い。

滋賀県特別支援教育研究会においては、これまでから共生社会に生きる子どもたちを主体とする視点を持ち、日常の教育実践を通してインクルーシブ教育の具現化を図ってきた。特に子どもたちそれぞれの「学び方」に着目し、寄り添い理解することから始め、その子の「可能性」として必要な支援を考え実践することにこだわってきた。新学習指導要領において求められている「主体的・対話的で深い学び」はまさに、学習者である子どもを中心に据え「その子らしさ」に着目して教育を工夫することであり、全ての子どもたちにとっての学びやすさにつながるものであると考えてきたからである。

今後、全ての子どもたちが地域社会でいきいきと生活できる共生社会の実現に向けて、近畿各地における実践を持ち寄っていただき交流し協議することを通して、本当の意味でのインクルーシブ教育となり得る実践につなげていく機会となることを期待するものである。

## 3 主 催

全日本特別支援教育研究連盟・近畿特別支援教育連絡協議会  
滋賀県特別支援教育研究会  
滋賀県高等学校等教育研究会特別支援教育研究部会  
近畿1府3県3政令指定都市特別支援教育研究協議会等

## 4 後 援

滋賀県教育委員会      彦根市教育委員会      米原市教育委員会  
奈良県教育委員会      和歌山県教育委員会      大阪府教育委員会  
大阪市教育委員会      堺市教育委員会      兵庫県教育委員会  
神戸市教育委員会      京都府教育委員会      京都市教育委員会  
滋賀県幼稚園・こども園教育研究会      滋賀県特別支援学級設置校長会

## 5 大会日時

令和元年8月9日（金） 9時45分～16時00分

## 6 会 場

滋賀県立文化産業交流会館（全体会・分科会）  
滋賀県米原市下多良2丁目137 tel:0749-52-5111  
米原公民館（分科会）  
滋賀県米原市下多良3-3 tel:0749-52-2240

- JR米原駅西口より徒歩7分
- 名神高速道路彦根インターより15分



7 大会参加費      3,500円

## 8 大会日程

9:15    9:30    9:45                      10:20                      11:45    13:15                      16:00

受付	開場	開会行事	記念講演	昼食	分科会
----	----	------	------	----	-----

## 9 講演

講師 丹羽 登 氏

演題 「インクルーシブ教育の現状と可能性」

講師紹介 関西学院大学教育学部教授

## 10 全体会日程

### 開会行事（9：45～10：15）

(1) 開会の言葉

(2) あいさつ

全日本特別支援教育研究連盟 理事長 明官 茂

第56回近畿特別支援教育連絡協議会滋賀県大会実行委員長

近畿特別支援教育連絡協議会 会長 井上 照美

(3) 祝辞

滋賀県教育委員会教育長 福永 忠克 様

彦根市教育委員会教育長 西嶋 良年 様

(4) 来賓紹介

(5) 令和2年度奈良県大会の紹介

近畿特別支援教育連絡協議会 副会長（奈良県会長） 鳥山 晃子

(6) 閉会の言葉

### 記念講演（10：20～11：45）

(7) 記念講演講師紹介

(8) 記念講演

(9) 謝辞

(10) 事務連絡

### 昼食・休憩・移動（11：45～13：15）

※近特連理事会（滋賀県立文化産業交流会館「第2会議室」）

## 11 その他

- ・クールビズを推進しています。
- ・指定場所以外での飲食、喫煙はしないでください。

## 12 分科会の内容 および 提案者・助言者・司会者（敬称略）

	分科会名	研究主題	主な協議の柱
1	就学に向ける支援	医療、保健、福祉等の関係機関と連携し、学齢期に至るまでの相談・支援の在り方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学前から就学後へのスムーズな支援の移行に向けた工夫</li> <li>・保幼小や関係機関との連携の在り方</li> </ul>
2	知的障害教育（小学校）	本人・保護者の多様な願いに対応した支援や合理的配慮の工夫や、校内委員会による支援の在り方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の教育的ニーズに応じた支援の在り方</li> <li>・自立と社会参加に向けた指導の工夫</li> </ul>
3	知的障害教育（中学校）	本人・保護者の多様な願いに対応した支援や合理的配慮の工夫や、校内委員会による支援の在り方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の教育的ニーズに応じた支援の在り方</li> <li>・自立と社会参加に向けた指導の工夫</li> </ul>
4	自立活動Ⅰ（難聴・弱視）	子どもたちが生活上学習上の困難を主体的に改善・克服するための指導や支援の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの主体性を大切にされた支援の在り方</li> <li>・自立活動の指導の充実に向けた取組や支援体制の工夫</li> </ul>
5	自立活動Ⅱ（通級、ことばの教室、自閉症・情緒障害）	本人・保護者の多様な願いや一人一人の障害特性に対応した効果的な指導や支援の在り方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の教育的ニーズに応じた支援の在り方</li> <li>・自己理解やアセスメントをふまえた支援の在り方</li> </ul>
6	発達障害の支援	学び方の違いや社会性の課題を抱えている子どもたちへの指導や支援の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・切れ目のない支援の在り方</li> <li>・障害の克服・改善、集団生活への適応を目指した指導・支援の在り方</li> </ul>
7	進路指導とキャリア教育	障害のある子どもたちへの就労支援やキャリア教育、学童期からの系統的・継続的な指導や支援の在り方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己理解を育み、自己決定を進めるための工夫</li> <li>・卒業後を見据えた一貫した指導の在り方</li> </ul>
8	交流及び共同学習	交流及び共同学習の在り方（障害理解に関する実践も含む）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな心を育む交流及び共同学習の在り方</li> <li>・様々な多様性を受け入れる心情や態度を育む障害者理解教育の工夫</li> </ul>

	提案者	助言者	司会者
1	大阪市立墨江幼稚園 主任教諭 松本 順美	大阪市教育委員会事務局指導部 インクルーシブ教育推進担当 総括指導主事 小西 浩之	大阪市立生魂幼稚園 園長 中山 教子
	長浜市立とらひめ認定こども園 教諭 横田 璃子	大垣女子短期大学幼児教育学科 学科長 教授 松村 齋	彦根市立旭森幼稚園 園長 松村 知子
2	香芝市立鎌田小学校 教諭 山下 裕美	奈良県教育委員会 学校教育課 特別支援教育係 指導主事 三村 好央	葛城市立新庄北小学校 教諭 竹綱 裕美
	栗東市立大宝小学校 教諭 廣橋 いずみ	びわこ学院大学 教育福祉学部 教授 小西 喜朗	栗東市立治田東小学校 教諭 酒井 美保子
3	京都市立西ノ京中学校 教諭 丸 民代	京都市教育委員会総合育成支援課 指導主事 大原 摩希子	京都市立西院中学校 教諭 小西 和正
	大津市立皇子山中学校 教諭 高澤 啓介	東近江市立玉園中学校 校長 野崎 典子	大津市立瀬田中学校 教諭 前田 容子
4	兵庫県立豊岡聴覚特別支援学校 教諭 渡邊 美有	兵庫県立出石特別支援学校 校長 松本 茂樹	兵庫県立豊岡聴覚特別支援学校 教諭 諏訪 淑子
	野洲市立野洲小学校 講師 鈴木 茜 米原市立息長小学校 講師 谷口 恵理	滋賀県立盲学校 教諭 天草 いずみ 滋賀県立聾話学校 教諭 庄司 智子	草津市立山田小学校 講師 金原 恭平 米原市立坂田小学校 教諭 成宮 美千代
5	神戸市立湊翔楠中学校 教諭 学校生活支援教員 日比 陽子	神戸市教育委員会特別支援教育課 こうべ学びの支援センター 指導主事 上山 剛明	神戸市立神戸祇園小学校 主幹教諭 山田 伸子
	守山市立中洲小学校 教諭 伊藤 邦子	滋賀県総合教育センター 滋賀 LD 教育研究会 会長 久郷 悟	守山市立守山北中学校 教諭 松田 充史
6	与謝野町立石川小学校 教諭 安田 由記	京都府教育庁指導部特別支援教育課 指導主事 粟津 京子	福知山市立昭和小学校 指導教諭 麻生 博幸
	豊郷町立日栄小学校 教諭 堀川 登世子	湖南省教育委員会事務局学校教育課 課長 松浦 加代子	大津市立粟津中学校 教諭 西松 輝
7	新宮市立城南中学校 教頭 久安 孝典 和歌山県立みくまの支援学校 教諭 海野 倫郎	和歌山県教育庁学校教育局県立学 校教育課特別支援教育室 指導主事 木下 真太郎	和歌山県立みくまの支援学校 教諭 南 美香
	滋賀県立甲良養護学校 進路指導部長 中西 哲也	滋賀県教育委員会事務局特別支援教育課 指導主事 大堀 元也	滋賀大学教附属特別支援学校 教諭 堀口 毅
8	大阪市立港中学校 教諭 濱中 義隆	大阪市教育委員会事務局指導部 インクルーシブ教育推進担当 指導主事 高時 隼人	大阪市立花乃井中学校 教諭 森本 慎也
	守山市立吉身小学校 教諭 隈元 理恵子	竜王町ふれあい相談発達支援センター 所長 少徳 仁	大津市立唐崎小学校 教諭 松四 一彦

## 13 申し込み方法と支払方法

### 1. 申し込みについて

#### 1) FAXにてお申込み下さい

☆お申込方法:P8の申込用紙に必要事項を記入の上、お申込み下さい。

FAX:077-565-0112(東武トップツアーズ滋賀支店)

☆お支払方法:申込み受付後、請求書を郵送いたします。期日までにお振込みをお願いいたします。

☆領収書は、お振込み時の控えを持って当社の領収書に代えさせていただきます。

参加費の領収書が必要な方は当日受付にご連絡下さい。事務局が対応します。

#### 2) 参加申込締切日

☆令和元年 6月28日(金)

### 2. 参加券等の送付

『大会参加券』以下、お申込該当者様のみ『宿泊券』・『分科会参加券』・『お弁当引換券』等につきましては、大会10日前までに、お申込者または申込代表者様宛に郵送させていただきます。

### 3. 大会参加・ご昼食(お弁当)のご案内(旅行契約に該当しません)

#### 1) 大会参加費

☆3,500円

☆大会参加費：お申し込み後、既にお振込みされました参加費の払い戻しは行いません。

#### 2) ご昼食(お弁当 お茶付き)

☆令和元年8月9日(金) 1,130円(千成亭 近江牛すき焼き弁当を予定しています)  
東武トップツアーズ受付にて配布させていただきます。

### 4. 宿泊のご案内

宿泊設定日：令和元年8月8日(木)・8月9日(金)

ご希望の方は、申込書の宿泊欄に、申込記号をご記入下さい。

申込記号	ホテル名	地図番号	部屋	宿泊料金	最寄駅～ホテル ホテル～会場までのアクセス
1-S	ホテルサンルート彦根	1	シングル	8,300円	彦根駅より徒歩1分 彦根駅から米原駅JRで5分
2-S	彦根ステーションホテル	2	シングル	6,300円	彦根駅より徒歩8分 彦根駅から米原駅JRで5分

※お申込順でのご手配とさせていただきますので、ご希望に添えない場合もございます。

※宿泊について(1泊朝食付・税込・サービス料込のお一人様料金です。)

※ご宿泊は東武トップツアーズ(株)の募集型企画旅行です。

※添乗員は同行いたしません。ご自身での宿泊手続きにてお願い致します。



第56回 近畿特別支援教育連絡協議会 滋賀県大会

東武トップツアー大船滋賀支店

FAX:077-565-0112

※申込み締切日 月 日( )

※旅行手配に必要範囲内での大会事務局・宿泊機関等への個人情報提供について同意のうえ、以下の通り申込みます。

都道府県	フリガナ	フリガナ	フリガナ
	施設名	連絡担当者	
ご住所 (資料送付先)	〒	電話 FAX E-mail	

フリガナ	性別	年齢	役職名等	大会参加 3,500円	希望分科会 第1希望 第2希望	お弁当・お茶代(昼食) 8/9 1,130円	宿泊希望ホテル 前泊(8月8日) 当日泊(8月9日)	備考
例 シガ タロウ	男	40	施設長	○	1 2	○	1-S	1-S
1	男	女						
2	男	女						
3	男	女						
4	男	女						

※お申込順により、ご希望のホテリでのご案内できなかった場合、及び弊社にてご用意したホテリが満室になった場合は、同ホテリの別のタワアのお部屋又は、他のホテリをご案内することがございます。予めご了承下さい。  
 ※講座は、お申込順に第1希望より受け付けいたしますが、ご希望の講座が定員数を満たした場合は、第2希望または他の講座へお預けいたします。予めご了承下さい。  
 ※お申込後、変更・取消が生じた場合は、お手数ですがお申込時の申込書を上書き訂正し、通信欄に『再送』と大きく記入の上FAXにて送付下さい。  
 ※個人情報等については、参加者との連絡調整、参加者名簿作成等、本大会事業の目的以外で使用することは致し、無断で他社に提供することとはございません  
 ※旅行手配のために必要な範囲での運送・宿泊機関・保険会社等への提供を除きます  
 ※申込人数が4名以上の場合は、この申込書をごコピーの上ご利用下さい。

<p>【申込書送付先】</p> <p>東武トップツアー大船滋賀支店 担当: 栗野・小林 〒525-0031 滋賀県草津市若竹町7-10 K&amp;K1-2階</p> <p>『第56回 近畿特別支援教育連絡協議会』 TEL 077-565-0109 FAX 077-565-0112 営業時間: 平日9:00~18:00 土・日・祝日休み</p>	<p>《返金の口座》ご返金の際にお知らせ下さい。</p> <p>普通・当座 銀行 支店 口座名義</p>	<p>《通信欄》</p>
---	--	--------------

※FAXの誤送信には十分お気を付け下さい。 ※必ず控えとしてコピーをお取り置き下さい。